

管理職・監督職のためのリーダーシップセミナー

■講師



秦 敬治(追手門学院大学 副学長 教育開発センター長 基盤教育機構 教授)

1986年3月に西南学院大学商学部卒業後、学校法人西南学院にて大学職員を20年間務め、2006年4月から愛媛大学にて大学教員に転身。愛媛大学では、教育企画室副室長としてFD・SDの中核を担い、SPODの立ち上げにも関わる。また、学生のリーダー養成にも関わり、愛媛大学リーダーズ・スクールや西日本学生リーダーズ・スクールの立ち上げを行った。2014年9月から現職。副学長(学生領域担当)に加えて、FDの中核を担う教育開発センター長、学生リーダー養成を行う追手門学院大学リーダー養成コース長も務め、教員、職員、学生の能力開発に取り組んでいる。加えて、市民向けのリーダーシップ講座等での講師歴も多く、松山市の経営者を中心とした志秦塾の塾長も務めている。専門は高等教育経営論(教育学博士)。愛媛大学教職員能力開発拠点 SDC/SPOD-SDC。

■プログラム概要

リーダーシップの発揮は組織の全ての構成員に求められる要素であり、マネジメントを担う管理職・監督職の大学職員には、自身のリーダーシップの発揮だけではなく、部下をはじめとする他者にも効果的なリーダーシップを発揮させることも求められます。

本プログラムでは、自身のこれまでの実践を振り返りながら、自身のリーダーシップの特性に対する理解を深め、リーダーシップに関する理論を実践に活かすための演習を行います。具体的には、これまでの経験や自身の特性を振り返る自己分析を行い、経験からの学びを抽出し、それらの特性を元に選択理論等の理論や類型の特性等を用いて、今後のアクションプランを作成していきます。

これまでのなんとなく上手かったという経験を理論へと昇華させて行くことの手がかりや手法を学んで行きましょう。

■主な受講対象

職位や部署等の規模は問いませんが、管理職や監督職に就いている大学職員を対象とします。あわせてSDプログラム等を運営する部署の教職員の受講も歓迎します。

■本プログラムの到達目標

1. 自身の行動に対する振り返りから、自身の得意なリーダーシップの強みと弱みを分析することができる。
2. 自身の経験を選択理論を用いて、分析することができる。
3. リーダーシップの類型や選択理論を用いて、他者に効果的なリーダーシップを発揮するための提案を1つ以上することができる。
4. チームの強みを活かした、効果的なリーダーシップを発揮するためのアクションプランを作成することができる。

■日時・会場

日時:平成28年8月26日(金)10:00~15:00

会場:愛媛大学城北キャンパス